

平成29年度兄弟校児童会交流事業

8/2(水)～4(金)

島原市と大分県豊後高田市は、歴史的なつながりから昭和44年に兄弟都市を締結。平成元年の締結20周年を記念して本市を訪れた当時の豊後高田市長が「大人だけでなく子どもたちの交流も」と提案し、平成2年8月1日に豊後高田市と島原市の小学校同士が兄弟校の締結をした。

本校の兄弟校は、豊後高田市立田染(たしづ)小学校である。



本校児童会代表の3名と引率の前田先生。訪問団55名は、8月2日午前9時に有明庁舎を出発し、午後2時に豊後高田市役所に到着。

市役所では熱烈歓迎を受けました。



市長表敬訪問を終えた一行は、島原藩士が眠る円福寺を訪れました。

ご住職から、島原市と豊後高田市の歴史的なつながりを教わりました。

そして、墓地へ向かい島原藩士の墓前にお花とお線香を手向けました。



その後、全体交流会が行われました。合唱団が両市民の歌を披露してくださいました。そして、いよいよ本校代表が担った大役の時間です。両市の代表がそれぞれの市を紹介するのです。素晴らしい発表に、私も感動しました。





交流会後、それぞれの兄弟校と初対面を終えた3名はホームステイのお宅へ出発しました。翌朝、田染小学校で合流した私たちは、交流会&平和集会に参加しました。田染小の6年生は8名、平和について発表しました。



島原と五小の自慢を伝える子どもたち



こんなにうちとけています。

交流会後、田染小の校長先生と教頭先生が校区の名所を案内してくださいました。「真木大堂」「田染荘」「富貴寺」と国宝、国指定重要文化財がたくさんある校区に驚きました。



案山子も町のあちこちに見かけました。
蕎麦をうつ案山子と一枚。



世界農業遺産「田染荘」、1200年の歴史ある荘園です。



有名な国宝「富貴寺大堂」
現存する木造建築では、九州で一番古い建物です。



昼食会場で55名の訪問団が再集合し、市内観光に出かけました。



豊後高田市を一躍有名にした「昭和の町」 昭和のレトロ気分にひたりました。



市内観光が終わり、3名は再び田染小へ戻りました。
「お帰りなさい。」の音がとても嬉しかったそうです。



保護者、先生方が準備してくださった夕食会です。笑顔・笑顔・笑顔でいっぱいです。



夕食後には、バドミントン・花火の準備までしてありました。
最終日のお別れ式にも市役所まで6年生が来てくれました。涙と笑顔でお別れです。

この交流事業は、1年の休みをはさんで、訪問と受け入れを交互に行っています。
2年後には、受け入れを本市が担当することになります。しっかり準備を整えたいと思います。